

# 浜田市立弥栄中学校 第1学年 社会科学学習指導案

日 時 平成27年1月24日(火) 5校時  
場 所 弥栄中学校 図書室  
指導者 上 田 信 明

## 1 単元名 世界の諸地域 「ヨーロッパ州」

### 2 単元の目標

- 日本との比較を交えながら、ヨーロッパの自然環境や人々の生活・文化に関心をもち、地域的特色を意欲的に追究し、とらえようとする。 【社会事象への関心・意欲・態度】
- ヨーロッパ州の地域的特色を、そこに暮らす人々の生活の様子をもとに、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で説明することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- ヨーロッパ州の地域的特色を読み取ることができる地図や統計資料を収集し、有効に活用できる。 【資料活用の技能】
- 文化の共通性と歴史的背景に着目し、EU統合による人々の生活の変化と課題について理解することができる。 【社会的事象についての知識・理解】

### 3 基盤

本単元は、学習指導要領内容(1)ウ「世界の諸地域」を受け、ヨーロッパ州の地域的特色を捉えさせる学習として設定したものである。ヨーロッパ州の地域的特色をとらえさせるにあたっては、「EUの発展と地域間格差」を主題とし、学習課題を設定して地域的特色を追究するように単元構成する。

ヨーロッパ州は、多様な言語や宗教、生活習慣など文化の違いから多くの民族に分かれ、比較的狭い地域に多くの国が集まっている。こうした中、“EUは1つの共同体として機能しているのか”という問いを立て、ヨーロッパ州においてEU加盟国の人々が日常生活で自由に域内の国境を越えて買い物や仕事をしていること、多様な産業が地域で展開している様子、人々の移動、EU内の交通機関による結び付きなどと関連付け、ヨーロッパ州の地域的特色について考えさせていきたい。

これまでの学習でグループ学習やペアでの話し合い活動などを行ってきたが、積極的に話し合う姿勢がみられ、活発に活動することができる。しかし、一方向からの視点での話し合い活動になりがちで、多面的・多角的に考察し、学習課題解決に向かう話し合い活動には至っていない。そこで、本単元では、次程の第2次で知識構成型ジグソー法を用いて授業展開を行い、生徒の主体的な活動をうながし、個々の思考力・資料活用の技能の育成を図った。本校の学校司書が用意した図書資料や新聞記事などの情報源から個々のテーマに合った情報を選択し、独自のエキスパート用資料を作成する。その資料の内容を他者に説明し、他者の意見をもとにヨーロッパ州の地域的特色を多面的・多角的に考察し、学習課題を解決する力を身につけさせたいと考えている。

### 4 本実践とキャリア教育

調べる学習では、図書資料や新聞記事などの情報源から、事前に割り振られたEUの暮らし・産業・経済というテーマから自分に合った情報を取り、それを整理し、与えられた学習課題解決に向けてまとめていく。このような活動を通して、課題発見の仕方、情報を主体的に選択し活用する力を伸ばしたい。

【見通しをもって計画・実行する力(課題対応能力)】

## 5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての 知識・理解
日本との比較を交えながら、ヨーロッパの自然や環境や人々の生活・文化に関心を持ち地域的特色を意欲的に追究しようとしている。	ヨーロッパ州の地域的特色を、そこに暮らす人々の生活の様子をもとに、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で適切に表現している。	ヨーロッパ州の地域的特色を読み取ることができる地図や統計資料を収集し、適切に読み取っている。	文化の共通性と歴史的背景に着目し、EU統合による人々の生活の変化と課題について理解し、その知識を身につけている。

## 6 単元の指導計画及び評価計画（全8時間）

次 程	時 間	ねらい・学習活動	評価の観点				評価方法等
			関	思	技	知	
第 一 次 （ 見 出 す ）	1	ヨーロッパの自然環境のおおまかな様子を知る。 ・写真や地図、地球儀を活用し、ヨーロッパ州の自然環境のおおまかな様子をとらえる。	○			○	・発言 ・ノート
	2	ヨーロッパのキリスト教文化と統合への歩みを知る。 ・ヨーロッパの民族・言語・文化の多様性と共通性をとらえる。 ・ヨーロッパの歩みとEUの成り立ちをおおまかにとらえる。	○			○	・発言 ・ノート
	3	ヨーロッパの産業の特色と分布を知る。 ・ヨーロッパの産業が地域によって違うことをとらえる。	○			○	・発言 ・ノート
第 二 次 （ 追 究 す る ）	4	EU統合による生活の変化を追究する。 ・これまでの学習をふまえ、EU統合の目的と経緯についてまとめる。 ・EU統合による生活の変化について考察する。		○			・発言 ・ワークシートへの記入内容
	5 6	EUの暮らし、産業、経済について調べる。 ・図書館でEUの暮らし、産業、経済について調べ、考察する。 ・エキスパート活動に向けて自分の考えをまとめる。		○	○		・行動 ・ワークシートへの記入内容
第 三 次 （ 表 現 す る ）	7 （ 本 時 ）	EU統合の実態を追究する。 ・EUのメリット、デメリットをもとにEUが1つの共同体として機能しているのか考察する。		○			・発言 ・行動 ・ワークシートへの記入内容
	8	EUの課題とこれからについて追究する。 ・EUがかかえる課題をもとに、課題解決策を考察する。		○			・ワークシートへの記入内容

## 7 本時の学習

### (1) 本時のねらい

EUは1つの共同体として機能しているのかどうか、他者の意見を参考にして、その理由を自分の言葉として説明することができる。 【社会的な思考・判断・表現】

### (2) 本時の展開

時間	学習活動	教師の支援	☆評価 ○教材
3分	前時までの学習を振り返る。 本時の目標の確認をする。		○振り返り用ワークシート（前時記入）
2分	本時の活動の流れを確認する。	・エキスパート活動、ジグソー活動、クロストーク活動の流れを説明する。	
EUはうまく機能しているのか評価してみよう。また、その理由を考えてみよう。			
10分	〈エキスパート活動〉 ・くらし ・産業 ・経済	・極力最低限の助言を行い、生徒たちの活動がメインになるように言葉かけを少なくする。	○エキスパート用資料（事前に配布） ○付せん
20分	〈ジグソー活動〉 エキスパート班で考察した内容をジグソー班で説明し、学習課題の解決にあたる。	・付せんにEUのメリット〈青〉、デメリット〈赤〉を書くよう説明する。	○まとめ用ワークシート ☆他者の意見を参考にして、自分の意見を構築している。（観察）
10分	〈クロストーク活動〉 各グループの意見を交換し、意見を学級で共有する。	・グループでまとめた内容はホワイトボードに記入させ、全体に見えるように掲示する。	○ホワイトボード
5分	〈振り返り〉 クロストーク活動をもとに、ワークシートを完成させる。	・授業前後での自分の学習課題の答えを比較させ、学習の成果を確認する。	☆ワークシートの記入内容

### (3) 本時の評価

評価の観点	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
社会的な思考・判断・表現	EUが1つの共同体として機能しているのかを他者の意見をもとに分析し、日本との比較を交えながら、自分の言葉として説明している。	EUが1つの共同体として機能しているのかを他者の意見をもとに分析し、自分の言葉として説明している。	グループ内での考えがまとめられるようなワークシートの使用や助言を行い、EUが1つの共同体として機能しているのかを考えやすくする。

### (4) 授業研究の視点

- ・エキスパート活動に使う資料を生徒に作成させたことは、ジグソー班での話し合いを深めることにつながったか。
- ・協調学習の手法を取り入れたことは、ヨーロッパ州の地域的特色について多面的・多角的に考察する手立てとして有効であったか。

1年 番（ ）

## 〈学習課題〉

「EUは機能しているのか評価しよう。また、その理由を考えてみよう。」

〈前の授業〉

- ・調べ学習で作成した自分の資料をもとに、EUは機能しているのか、その理由をまとめてみよう。

〈授業後〉

- ・他の班やエキスパートの意見をもとに、EUは機能しているのか、その理由をまとめてみよう。

1年 番（ ）

〈学習課題〉

「EUは機能しているのか評価しよう。また、その理由を考えてみよう。」

エキスパート仲間のお話を簡単に記録して、エキスパート分野について自分で説明できるようにしよう。

【EUの 】

( ) さんの話 タイトル「 」

( ) さんの話 タイトル「 」

( ) さんの話 タイトル「 」

【牛さんのアドバイス】  
メリットが読み取れる資料は逆にそのことでデメリットが生じてないのかも考えてみると話しがはずむモ～

